

Q 世界の株式市場が大きく 下落した後はどのような動きになるの？

A 過去15年のケースでは、下落局面の後に株価は 上昇し、下落前の水準を上回って推移しています。

これまで何度か世界株式の下落局面がみられましたが、一時的に大きく下落した後は反転上昇してきました。ケースによっては数年程度を要する場合がありますものの、下落前の水準を上回って推移しています。したがって、下落局面でも株式を保有し続けることで資産価格は回復しています（次ページ参照）。

世界株式の推移



	下落局面① リーマンショック	下落局面② 欧州債務危機	下落局面③ チャイナショック	下落局面④ 米中貿易問題	<ご参考> 足元の世界株式
対象期間	2007年10月末 ～2009年2月末	2011年4月末 ～2011年9月末	2015年5月末 ～2016年2月末	2018年1月末 ～2018年12月末	2019年12月末 ～2020年2月末
騰落率	-55.4%	-20.5%	-13.0%	-14.9%	-9.2%

※下落局面には主なイベント名を記載しています。

(注1) 世界株式はMSCIワールドインデックス（米ドルベース）。
 (注2) データ期間は2005年1月末～2020年2月末（2005年1月末を100として指数化）。
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※裏面の「重要な注意事項」を必ずご確認ください。

世界株式の大幅下落以降の推移



下落前の水準まで回復した後の騰落率 (2014年4月末比)	
1年後 (2015年4月末)	5.4%
3年後 (2017年4月末)	11.3%
5年後 (2019年4月末)	29.1%

下落前の水準まで回復した後の騰落率 (2013年1月末比)	
1年後 (2014年1月末)	13.7%
3年後 (2016年1月末)	11.2%
5年後 (2018年1月末)	57.5%

下落前の水準まで回復した後の騰落率 (2017年1月末比)	
1年後 (2018年1月末)	23.5%
3年後 (2020年1月末)	30.7%

(注) 世界株式はMSCIワールドインデックス (米ドルベース)。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。